

水深10m岸壁の整備により貨物を直接輸出することで物流コストを大幅に削減

みずしま

file12

水島港

対象施設 玉島地区多目的国際ターミナル 岸壁(-10m)

供用 平成14年

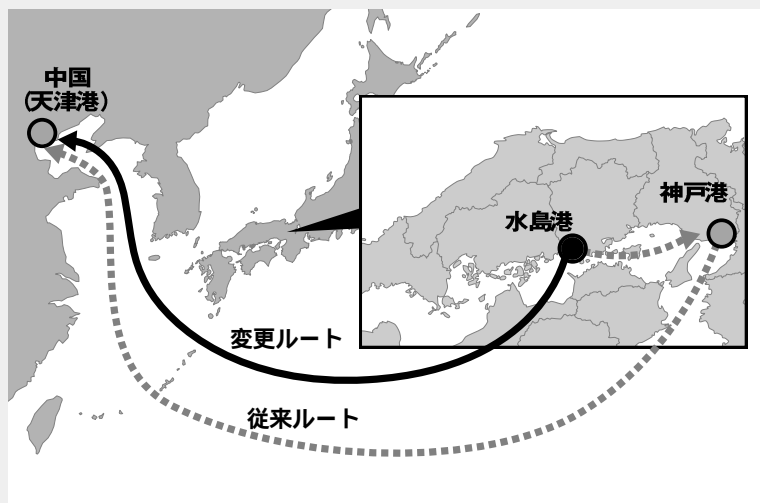
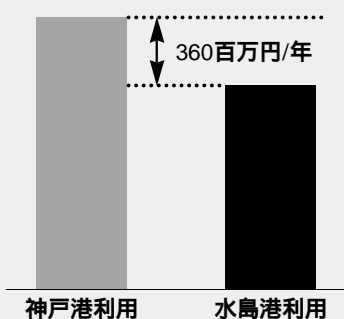
平成14年3月に水島港はガントリークレーンを備えた水深10m岸壁を供用し、国際コンテナ航路を次々に開設することができた。

水島港には、鉄鋼、石油化学、自動車等多くの企業が立地するが、これらの企業のうち、A社は港湾を利用するコンテナ貨物を水島港から神戸港まで海上輸送し、神戸港より中国へ船積輸出していた。

A社はそれまで神戸港を経由していたコンテナ貨物の一部を水島港から直接輸出することができるようになり、物流コストが1年当たり360百万円が削減できた。

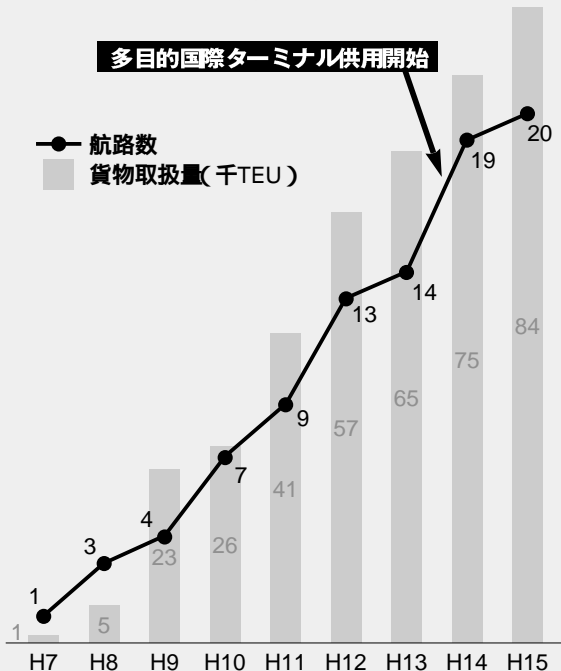


●物流コストの比較



第2部
個別港湾事例

●水島港外貿コンテナ貨物取扱量・航路推移数



●水島港多目的国際ターミナル取扱状況

